土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-2	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 29.7414"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和元年12月16日～ 令和元年12月17日	東経	132° 31' 04.4920"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 83.66m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-0 / エンジン：ヤンマーNFD13 / ポンプ：東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	81.91	1.75		転石混り礫質土		淡灰褐	rd5		長さ5～2cmの礫片や転石が混在する。礫・転石の基質は花崗岩。岩質は硬いものの、一部の礫・転石は軟質。礫・転石間は、φ5～10mmの角礫が混じる細～中粒の砂・砂質土。	12/17 0.80
2	79.66	4.00		花崗岩		淡褐灰			中硬岩相当の花崗岩。長さ3～18cmの岩片～棒状。岩質は硬く、ハンマーの打診で濁音～金属音を発する。全体に水平方向の割れ目が発達。深度3.60mに傾斜70度の割れ目が確認される。	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度—N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.30 / 1.44	18	32 / 40		50 / 140	140	
50以上	2.00	貫	入	不	能	50 / 0	0
50以上	3.00	貫	入	不	能	50 / 0	0
50以上	4.00	貫	入	不	能	50 / 0	0

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.30 / 1.44	P-1	⊖		12/16
				12/17